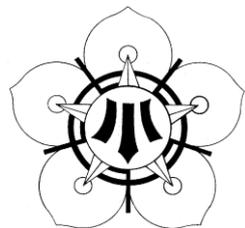


地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



# くさぶえ

福生市立福生第七小学校  
令和6年度 学校だより

福生第七小学校  
ホームページ  
URL



<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>

所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 山岸 史子

令和6年5月1日 発行

## 本物体験、始動！～ホタルがつなぐ七小の歴史～

校長 山岸 史子

爽やかな春の風を一気に追い越したような陽気の中ですが、子どもたちは元気に飛び回り、いい汗をかいています。

年度初めのお忙しい時期にもかかわらず、保護者会には多くの皆様にお越しいただき、今年度の取組や学習内容、発達段階に応じた特徴等のご理解をいただき、共有させていただきました。ありがとうございます。始業式・入学式からの1か月、新しい気持ちで清々しくスタートした子どもたちです。家庭・地域・学校の三者でタッグを組み、子どもたちを支え、育てていきましょう。どうぞよろしく願いいたします。

4月22日月曜日に、CS事業「ほたるプロジェクト2024」がスタートしました。七小では毎年3年生がホタルの学習を通して、生き物、生命の不思議や自然環境の役割、そして命の尊さを学んでいます。CS委員長の板垣和生さんを講師にお招きし、ホタルの生態を教えてくださいました。一人一人がそれぞれに2頭のホタルの幼虫が入ったガラスのビーカーを受け取り、じっくり観察した後、校庭の東側にある「ふれあいの泉」(ビオトープ)へと放流しました。優しく水中に放ち、「また会おうね」と成虫になって光を灯しながら飛んでくれることを願っていました。



これから3年生は気温・水温・湿度などを記録しながら、板垣さんに報告して、羽化の時期を予告します。せせらぎ通りを夜間通られる方は5月末辺りからちらりほらりと柔らかい光が舞う姿を見られるかもしれません。

「ふれあいの泉」は、平成8年(1996年)、に完成しました。平成5年に今の「せせらぎ通り」が舗装されることを知った当時の第5代校長 茂山 吉秀先生が、縞屋の滝の湧水を校内に引き込んでビオトープを造ってほしいと福生市にお願いして、今の清流ができたそうです。七小の子どもたちが水辺の生き物に関心をもち、科学の心と自然を愛する心を育ててほしいという思いからです。

第6代校長 小野寺 萬次先生が平成10年(1998年)に、福生市ホタル研究会の方からホタル100匹、そしてその餌となるカワニナをいただいて子どもたちと放流し、ホタルが舞う池ができました。翌年にはホタル委員会が発足したそうです。この頃のことをご存じの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、当時の様子のお話を聞かせてください。

今年も、子どもたちの放流したホタルが舞い始めましたら、ホタルの観察会を開催しますので、ぜひご家族で見にいらしてください。6月中旬頃かと思いますが、こればかりはホタルの都合もございますので、追ってご案内いたします。田園であったこの地ならではの風景、情景を子どもたちと味わい、大切につないでいけたらと思います。